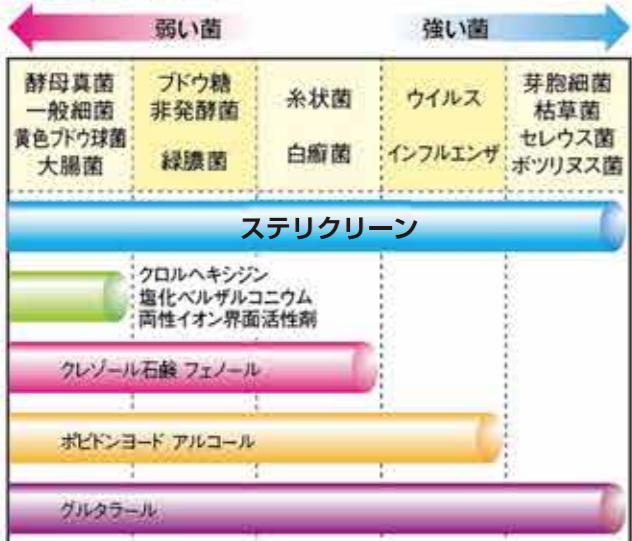


ステリクリーンの除菌力の証明

*日本食品分析センター調べ

■ 抗菌スペクトル



■ 大腸菌、緑膿菌、黄色ブドウ球菌、MRSA たった1分でこの効果!

試験液の生菌数測定結果

試験菌	試験液	生菌数(/ml)		
		開始時*	1分後	5分後
大腸菌	ステリクリーン	2.4×10 ⁵	<10	<10
	精製液	2.4×10 ⁵	***	***
緑膿菌	ステリクリーン	1.3×10 ⁵	<10	<<10
	精製液	1.3×10 ⁵	***	***
黄色ブドウ球菌	ステリクリーン	5.1×10 ⁵	<10	10
	精製液	5.1×10 ⁵	***	***
MRSA	ステリクリーン	2.0×10 ⁵	<10	<10
	精製液	2.0×10 ⁵	***	***

試験液に細菌の菌液を添加、混合後、20°Cで1分及び5分間作用後に試験液の生菌数を測定した。
作用温度: 30°C <10: 検出せず ***: 試験実施せず
※1: 菌液添加直後の対照の生菌数を測定し、開始時とした
ステリクリーン: 有効塩素26ppm,pH6.6(21°C)

ウィルスを抑制

*日本食品分析センター調べ

作用液のウイルス感染抑制測定結果	
試験ウイルス	対照: logTCID ₅₀ /cm ² : 15秒後
インフルエンザウイルス	様体: <1.5 対照: 6.7

作用液のウイルス感染抑制測定結果	
試験菌	試験液 logTCID ₅₀ /cm ² : 開始時 1分後 5分後
キコカリウイルス	ステリクリーン: 6.0 <1.5 <1.5 精製水: 6.0 *** 6.5

TODC50: minimum tissue culture infectious dose, 50%組織培養感染量
＊＊＊: 検出限界以上の効果

＊＊＊: 検出限